

■欧州：欧州では再エネ 1%増えるごとに卸市場価格が 0.4 ユーロ/MWh 低下

欧州委員会は 2016 年 11 月 30 日、電気料金とコストに関する報告書を発表した。同報告書によると、欧州では 2008 年 1 月から 2016 年 6 月の間、再エネ発電電力量が 1%増える毎に卸市場価格が平均 0.4 ユーロ/MWh 低下し、化石燃料（石炭、ガス、石油）による発電電力量が 1%増えるごとに卸市場価格が 0.2~1.3 ユーロ/MWh 上昇した。また 2015 年時点の平均家庭用電気料金は 208.7 ユーロ/MWh であった。内訳を見ると、2008 年から 2015 年の間に料金に占める卸市場価格のシェアが低下する一方、再エネ賦課金や税金等のシェアが 28%から 38%に増加した。